

平成 28 年度「大阪市英語力調査」（「英検 IBA」）に おける大桐中学校の結果の概要と今後の取組について

大阪市では、生徒の英語力の充実と向上を図るため、大阪市教育振興基本計画*に基づき、英語イノベーション事業*の一環として、「大阪市英語力調査」（「英検 IBA」）を実施いたしました。この調査の目的は、生徒が自らの英語力を的確に把握するとともに、学校における英語の指導の改善を図ることです。

学習指導要領における中学校英語の目標は、「外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う」と示されております。本調査で測定できるのは英語力の一部ですが、本校では、結果をふまえ、生徒の総合的な英語力向上を目指してまいります。

- 1 目 的
- (1) グローバル社会において活躍し貢献できる人材の育成をめざし、生徒の英語力の充実・向上を図るため、本市教育振興基本計画に基づき、生徒に求められる英語力や学習の習熟過程等を把握・検証する。
 - (2) 生徒が自らの英語力を的確に把握するとともに、生徒の英語力の実態を分析することにより、各学校における学習指導の改善、工夫に役立てる。

2 対 象 大阪市立全中学校 生徒 1～3年生

※本校では	3年生 161人	平成28年11月7日（月）実施
	2年生 167人	平成28年11月7日（月）実施
	1年生 146人	平成28年11月7日（月）実施

3 内 容

学年	英検 IBA の種類	英検（目安）	テスト内容		満点 スコア
			リーディング問題	リスニング問題	
3年	テストC	英検準2～5級レベル	35題	30題	1100点
2年	テストD	英検3～5級レベル	35題	30題	1000点
1年	テストE	英検4級・5級レベル	35題	25題	800点

*大阪市教育振興基本計画…本市の教育振興のための施策に関する基本的な計画

*英語イノベーション事業…本市の英語教育強化を図るための事業

平成 28 年度 「大阪市英語力調査」(「英検 IBA」) の結果の概要と今後の取組 大桐中学校

■ 調査内容

学年	英検 (目安)	テスト内容		満点 スコア
		リーディング問題	リスニング問題	
3 年	英検準 2 級～5 級レベル	35 題	30 題	1100 点
2 年	英検 3 級～5 級レベル	35 題	30 題	1000 点
1 年	英検 4 級・5 級レベル	35 題	25 題	800 点

■ 調査結果

【「語い・熟語・文法」「読解」「リスニング」の値は分野別平均正答率(%)】

3 年	学校平均スコア(点/1100点)	語い・熟語・文法	読 解	リスニング	英検 3 級レベル以上の割合 (%)
	713.4 点	51.9%	52.5%	49.4%	32.9%
	市平均スコア(点/1100点)	語い・熟語・文法	読 解	リスニング	英検 3 級レベル以上の割合 (%)
	723.9 点	54.0%	56.6%	51.1%	38.9%
2 年	学校平均スコア(点/1000点)	語い・熟語・文法	読 解	リスニング	英検 4 級レベル以上の割合 (%)
	630.5 点	62.3%	55.9%	57.6%	51.5%
	市平均スコア(点/1000点)	語い・熟語・文法	読 解	リスニング	英検 4 級レベル以上の割合 (%)
	650.6 点	64.1%	58.4%	61.8%	61.4%
1 年	学校平均スコア(点/800点)	語い・熟語・文法	読 解	リスニング	英検 5 級レベル以上の割合 (%)
	474.0 点	57.4%	44.3%	54.3%	70.5%
	市平均スコア(点/800点)	語い・熟語・文法	読 解	リスニング	英検 5 級レベル以上の割合 (%)
	509.2 点	63.7%	50.0%	61.6%	80.6%

■ 結果の概要と今後の取組について

学年	結果の概要と今後の取組
3 年	<p>全分野において市平均を下回った。1100 点満点のテストで市平均より 10.5 点低いことは平均近くとも考えられる。英検 3 級レベル以上の割合でも 6 ポイントの差が出た。</p> <p>今後は、既習の内容のうち十分に理解できていない部分を補うための工夫が必要と考える。具体的には T・T、C-NET、習熟度別学習での効率的な取り組みが必要となる。</p>
2 年	<p>全分野において市平均を下回った。スコアも市平均より 20.1 点低く、英検 4 級レベル以上の割合も 9.9 ポイント下回った。</p> <p>語い・熟語・文法では、ドリルなど反復練習に重点的に取り組ませる。読解においては、長文を読む機会を増やす必要がある。リスニングにおいては、C-NET を活用した授業の工夫や生徒同士のアクティビティーの場を多く作っていく。</p>
1 年	<p>全分野において市平均を下回った。スコアも市平均より 35.2 点低く、英検 5 級レベル以上の割合も 10.1 ポイント下回った。</p> <p>今後は、長期的に語い力・文法力の強化を目指してドリル・小テストなど反復練習を増やす必要がある。またリスニングでも、ドリルを使い実際に解くだけでなく、シャドーイング等を行い聞く力を養う時間を増やしていく。</p>